



31 創立 1984.7.10 / 認証 1984.8.6 国際ロータリー第2660地区 大阪鶴見ロータリークラブ会報

事務所：〒534-0026 大阪市都島区網島町9番10号 大閘園内
電話：06-6357-8171 ファックス：06-6357-8011
例会日：毎週火曜日 12時30分 / 例会場：大閘園
会長：水間 頼孝 / 幹事：井上 修一 / SAA：山本 隆一
電子メール：rcosatrm@cf.mbn.or.jp
ホームページ：http://rc-osaka-tsurumi.jp/



本日の例会

〈第1444回〉 2014年10月21日 (火) 本年度第15回

卓話

平成26年10月5日の意義とは
— 国津神と天津神の和解 —
講師：谷 康平 会員

担当：山本(良)会員

■ロータリーソング
我らの生業

■ランチタイムミュージック
浜千鳥

次回の例会

10月28日 (火)

次回卓話

30周年実行委員会 全体会議

前回の報告

会長インフォメーション <PRESIDENT INFORMATION>

会長：水間頼孝

昨日は台風19号が大阪を直撃しましたが、皆さんにはお怪我などもなく大丈夫だったでしょうか。ご注意ください。

先週の例会があった10月7日、ノーベル物理学賞が日本人研究者3名に贈られました。20世紀中には無理だといわれていた青色発光ダイオード(青色LED)を、赤崎勇教授と天野浩教授が昭和61年に開発し、中村修二教授が平成5年にその実用化、大量生産化に成功したという功績に対し、ノーベル賞が贈られました。日本人として本当に嬉しい気持ちで一杯です。

この青色LEDの開発によってできた白色光は、従来の電球や蛍光灯よりはるかにエネルギー効率がよく長寿命ということです。ですので世界の電力消費の4分の1が照明として使われている現状では、青色LEDがどれだけ世界的に大きな省エネや資源保護に役立つ

つか分かりません。また青色LEDはコンピューターによる大量の情報処理には欠かせないものですし、スマートフォンや液晶テレビの画面、信号機などの身近なものにも幅広く使われています。青色LEDを開発した3教授にノーベル賞が贈られて当然のことなのです。

ところで、この青色LEDは窒化ガリウムのきれいな結晶を作ることがポイントだったのですが、あるときそれまで結晶を作るために使っていた加熱用の窯が故障したので、天野教授が仕方なく低温の状態で実験をしたところ、とってもきれいな結晶ができたということです。これを瓢箪から駒とか言う人もいるでしょうが、決してそんなものではなく、毎日少しずつ条件を違えて何十年もの実験を続けてきたたゆまぬ努力の積み重ねの成果だと思います。私は、むしろ「神さんは絶対どっかで見たはる」という言葉が一番ぴったりくると思いますが、皆さんはどうでしょうか。

職業奉仕月間および米山月間

大阪鶴見ロータリークラブテーマ「全会員の力で30周年記念事業を成功させよう」

10月14日(火) クラブフォーラム(職業奉仕部門)
15日(水) カイツブリ会 伏尾ゴルフ倶楽部

18日(土) 第6組インターシティミーティング(IM)
13時~コングレコンベーションセンター
ホールA(グランフロント大阪 北館B2F)
21日(火) 午前11時よりコーラス同好会 練習
30周年実行委員会全体会議

30周年広報登録部会

中嶋英貴

11月1日、30周年記念行事当日の受付において、各会員の協力をお願い致します。

来賓、ロータリアン、米山奨学、青少年他、来客の受付や会場への案内など、当日は、全員で気持ち良くお迎えしたいと思いますのでよろしくお願い致します。

😊 NIKONIKO箱 😊

¥3,000.- 累計 ¥409,000.-

津野会員 本日卓話です。宜しくお願いします。

前回の出席報告		(10月14日 1443例会)	
会員数	31名	ビジター	0名
(内出席規定免除)	9名	ゲスト	2名
出席会員	22名中 18名	出席総数	27名
出席免除会員	9名中 7名	前々回 9/30 M/U	2名
出席率	25/29 86.21%	修正出席率	85.71%

卓話

ビジネスに活かす色彩効果

講師: OFFICE COLOR COLOR

代表 武田珠佳氏

担当: 津野会員

みなさんは日頃どれくらい「色」を意識していますか？
色は私たちにとって特別なものではなく、みなさんの普段の生活の中、ありとあらゆるところに存在しています。インテリア、商品、WEBサイト、ファッション、食べ物、街、建築物・・・

普段色を意識していなくても、入りやすいお店だと感じたり、居心地のいい場所だと感じたり、急にお腹が空いたり、衝動買いをしてしまったりと、誰しも「色」の



影響を少なからず受けています。

実は色には、色ごとにイメージが存在し、「色」は私達に様々なメッセージを発信しています。伝えたいイメージと、使用している色がマッチしていると非常に好印象を与えるのです。

人の第一印象は人柄から受けて感じるものではなく、身に付けている色や身なりによって左右され、職業とイメージが合うかどうかの判断はほんの一瞬で決まってしまう。第一印象を良くするためには、今日誰と会い、どのような内容の話を、どこですのか、時間帯は？それに合わせてネクタイの色、装いはTPOを考えて選ぶ必要があります。

また、意外と無頓着な方も多いのですが、ご自身や組織で使うビジネスツールも第一印象を形成する重要な要素です。名刺、パンフレット、プレゼンツール、ホームページ等はストレートに伝わる大切なツールですから、クライアントやエンドユーザーに選んでもらえるような魅力的な色使いが必要です。

人は依頼するかどうかを決める時、価格や仕事内容だけではなく、色やデザインから受ける印象を判断基準にしているのです。

色の使い方次第で、結果が大きく違うことはよくあり、色は上手く使えばコストを最小限に抑えながら、結果を大きく生み出す力があります。素材やデザインは変えられなくても、色や配色を的確なものに変える事は簡単なのです。

実例として、通販カタログで、使用色の変更とレイアウトの監修後に売上が上がった。来店数の少ないカフェをインテリアカラーコーディネートしリニューアル。その後は来店者数が増え売上増加に繋がった。パーソナルカラーを活用してファッションを変えたらご縁に恵まれた等、色によってもたらされるプラスの効果は意外と大きいものです。

どんな業種でも全く色のない世界(業種)は存在しないと言ってもいいほど、私達は色に囲まれた生活を送っています。色はきっと皆様のビジネス向上を実現します。そして色を意識した生活は意外と楽しいものですよ。もっと色を楽しみましょう！

職業奉仕部門フォーラムまとめ

職業奉仕委員会 委員長 津野友邦

今後の職業奉仕委員会の活動に資することを目的とし2テーブルに分かれて夫々次の議題で意見を纏めて頂きました。

Aテーブル：過去に実施してきた職業奉仕部門の奉仕活動としてどのような活動があったか、また、よかった活動・印象に残っている活動など。

Bテーブル：職業奉仕委員会とその他の委員会（社会奉仕委員会・青少年奉仕委員会・国際奉仕委員会）との共催についてそのあり方。

〈Aテーブル〉

過去に実施してきました職業奉仕部門の奉仕活動には、大きく分けて、下記の三つの種類があると考えられます。

1. 勉強会

- 1-1 理論的なもの（例）深川先生による講演など
- 1-2 実践的なもの（例）畑田先生による出前授業のあり方など

2. 職業奉仕活動の見学

- 2-1 工場見学（例）ソーラー電線 ガラス瓶製造 義肢、義足製作など
- 2-2 公共機関見学（例）大阪地裁 イージス艦
- 2-3 他の奉仕部門との共催（例）大阪スクールオブミュージックの見学〈青少年奉仕部門と〉 酒蔵、イージス艦見学〈親睦部門と〉

3. 「会員自身の職業奉仕」に関する冊子の発行

今後、他の奉仕部門との共催も視野に入れながら、多角的に職業奉仕活動を行っていただければと考えます。

〈Bテーブル〉

- ・そもそも職業奉仕とは何かそこを考えるのが重要。
- ・「内なる奉仕」と「外なる奉仕」という考え方があり活動と捉えるとそれは「外なる奉仕」考えること・理解することと考えるとそれは「内なる奉仕」。活動と結びつけて考える必要は必ずしもない。
- ・実際に行っている奉仕活動の中で、各会員の職業を活かした活動が出来ればそれは職業奉仕活動。
- ・奉仕活動の中で自らの職業倫理を磨き高めてこそ職業奉仕。

……様々な意見がありましたが、「他の奉仕部門との共催についてのあり方」と言う意味では、意見・結論を纏めるには至りませんでした（纏める必要がありませんでした）。

2014年4月・5月に行われた職業奉仕委員長会議

の中で「職業奉仕入門」として、「ロータリーの樹」というものが紹介されました。ロータリーの職業奉仕の位置付けを把握し、理解を深めるのに有用とのことでした。

以下に「ロータリーの樹」とその解説を引用させていただきます。



ロータリーの樹

2008年のRI国際協議会の全体会議において、当時RI理事であった渡辺好政先生は「ロータリーの樹・2008」と銘打ってロータリーを「一本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行い、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行われました。また、2010年規定審議会の決議に基づき、さらに文言を変更され「ロータリーの樹・2012」として示されました。今回第2660地区職業奉仕委員会は、この「ロータリーの樹・2012」に加筆させていただき、親睦との関連を結びつけたものとしました。1905年、ポール・ハリスら4名によって創始された最初のロータリー・クラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦・助け合いからはじまりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリー・クラブ会員は、クラブという学校で「相手のことに思いを馳せ、相手を助ける」という「奉仕の理想」を学び、その真意が「共存共栄」であることがわかります。「クラブ会員」は、ロータリーの目的を基本として、ハーバード・テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、「ロータリアン」に進化してまいります。ロータリー・クラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には、フランクリン・コリンズの「超我的奉仕」、アーサー・シェルドンの「もっとも奉仕するもの、最も多く報いられる」が存在いたします。私たちは、この2つのモットーを1枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく、「行動の哲学」なのであります。

担当：濃添会員



www.rotary.info

ROTARY

121万の
ボランティア会員
世界200カ国

ロータリーソング

四のテスト

言行はこれに照らしてから

真実かどうか
みんなに公平か
好意と友情を深めるか
みんなのためになるかどうか

R-O-T-A-R-Y

R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY,
R-O-T-A-R-Y is known on Land and Sea.
From North to South, from East to West
They profit most, Who serve the Best
R-O-T-A-R-Y,
That spells ROTARY

奉仕の理想

奉仕の理想に集いし友よ
御国に捧げん我等の業
望むは世界の久遠の平和
めぐる歯車いや輝きて
永遠に栄えよ 我等のロータリー

我らの生業

我等の生業さまざまなれど
集いて図る心は一つ
求むるところは平和親睦
力むるところは向上奉仕
おゝロータリアン 我等の集い

限りなき道ロータリー

奉仕の理想 胸に秘め
友情花と咲かせつつ
生きよう今日も ニコニコと
一筋の道 ロータリー
限りなき道 ロータリー

それでこそロータリー

どこで合っても やあと言おうよ
見つけた時にゃ おいと呼ぼうよ
遠い時には 手を振り合おうよ
それでこそ ローローロータリー

町に灯(ともしび)を

出会いの挨拶してごらん
並木さらさら葉から葉へ
人にやさしい町の風
ロータリー ロータリー
廻って 守れ 風車になって
地球がきれいな息をする

われらがロータリー

「聞こえるかい 熱い心の高鳴りが」
夢を世代に受け継いで
今日も明日もその先も
胸いっぱい友情深め
肩組んで 謳おう
われらが ロータリー